

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

## 1. 建物概要

建物名称	特別養護老人ホーム 有明園	
建設地	西区 有明町1436番184地	
用途地域	第一種・第二種低層住居専用地域	
建物用途	病院,	
竣工年	2013年11月 予定	
敷地面積	18,690.14 m <sup>2</sup>	
建築面積	2,801.32 m <sup>2</sup>	
延床面積	7,029.36 m <sup>2</sup>	
階数	地上3F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2013年1月15日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{55}{34} = 1.6$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.3		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.3		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	3.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.5		まちなみ・景観への配慮	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

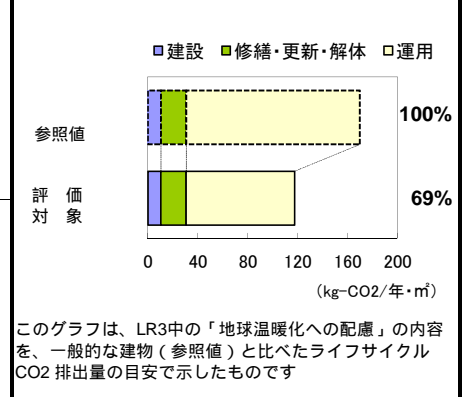
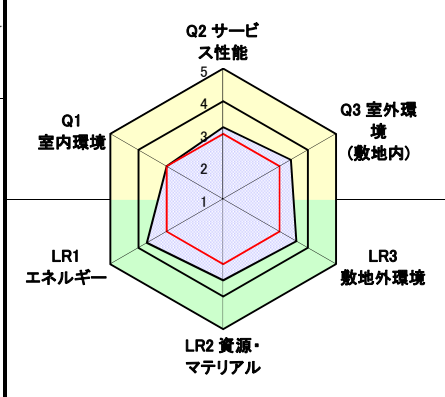
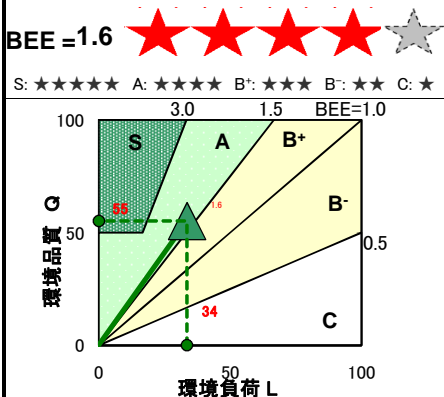
- 長寿命化の取組み: バルコニー(庇)で外壁材の劣化を抑制している、また、耐久性の高い外壁材を採用し建物の長寿命化を図った。
- 自然エネルギー利用の取組み: 太陽光発電を利用したシステムを計画。
- 資源循環の取組み: リサイクル資材を積極的に採用し、部材の再利用を考慮した計画。
- 新潟のまちなみへの取組み: 海岸沿いの緑豊かな地域との調和を考慮し、壁面緑化を計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

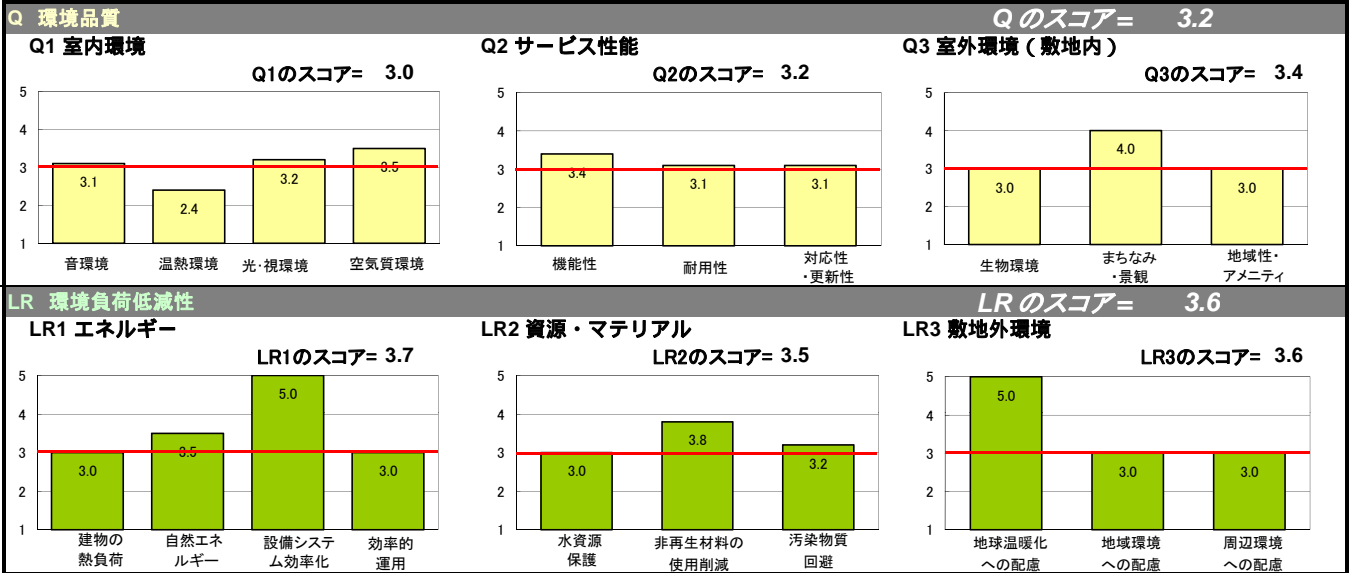
# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果内訳 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

**2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)** | **2-2 大項目の評価(レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**



**2-4 中項目の評価(バーチャート)**



**2-5 設計上の配慮事項**

<b>総合</b> 敷地の高低差を活用し、できるだけ建物高さを低く抑えて周辺環境との調和を図った。また次世代の特別養護老人ホームを目指し、自然エネルギーの利用やライフサイクルコストの削減、耐久性の高い材料を選定し、建物の長寿命化を図る。	<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> 居室の防火上主要な間仕切り壁は十分な遮音性能を持たせる計画とした。また建物外周部にバルコニー(庇)を設けることで、夏季の直射日光を遮り、空調負荷を削減を図った。	<b>Q2 サービス性能</b> 入居者が利用する居室部分は十分な床面積を確保し、室内の機能性・使いやすさの向上を図った。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地の高低差を活用し、できるだけ建物高さを低く抑えて周囲への圧迫感を減らし、まちなみにバランスよく調和した計画とした。	<b>LR1 エネルギー</b> 省エネルギーに配慮した設備システムを構築し、エネルギーの高効率化を図る。
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 非構造材のリサイクル材を積極的に採用し、資源の有効活用を図る。	<b>LR3 敷地外環境</b> 地球温暖化を抑制するために、ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を参照値に対して75%以下に抑えた計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される